

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	照屋 守之(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 玉城知事の政治姿勢について 沖縄県の基地の負担軽減・整理縮小及び沖縄振興のため国の予算獲得は県政及び県知事の大きな責務であると考え、これらの難題を解決するには県知事と総理大臣の権力者同志の対話・協議に期待するしかないと思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 県知事と総理大臣とのトップ交渉で普天間・辺野古問題を解決してほしい。玉城知事に問います。</p> <p>(2) 県知事と総理大臣とのトップ交渉で一括交付金も含め次年度の沖縄振興予算を3000億円獲得してほしい。玉城知事の決意を伺う。</p> <p>2 沖縄県政と国政との関係について</p> <p>(1) 歴代の沖縄県知事は保守・革新を問わず「国との信頼構築」「国の立場の理解」「国の沖縄問題解決に理解」を踏まえて、県知事として難題に取り組み成果をつくり出したと思う。玉城知事の見解を問う。</p> <p>(2) オール沖縄県政と国政との信頼関係及び相互理解、問題解決の方向性はどのようになっているのか伺う。</p> <p>3 沖縄県及び我が国を取り巻く安全保障環境の激化について ロシアのウクライナ侵攻による戦争が続き、今や世界が冷戦時代に入ったかのようなようである。今後、自由主義と社会主義の対立を危惧するものである。そこで伺います。</p> <p>(1) 中国の台湾統一問題・尖閣諸島周辺及び北朝鮮のミサイル発射を含め沖縄県を取り巻く安全保障環境の激化に県民の生命財産を守る沖縄県政としての対応を問う。</p> <p>(2) 「沖縄を戦場にさせない」このような危機感も広がっている。県民の不安を払拭するため、県は国と連携して対応すべきであると思う。県の見解を問う。</p> <p>(3) 県は地域外交をスタートさせた。国も抑止力強化と外交を行っている。地域外交を進めるに当たり県は国と連携していると思う。外交について県と国の役割・連携を説明願う。</p> <p>4 国の異次元の少子化対策について</p> <p>(1) 少子化対策で学校給食費の無償化を推進すること。国は、今、どのように進めているか説明願う。</p> <p>(2) 玉城県政も学校給食費無償化を進めているが、国の取組と連携してモデル地区として沖縄県からスタートさせたい。玉城知事の決意を伺う。</p>			

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
2	17分	上原 章(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 価格高騰対策について</p> <p>(1) 電気料金高騰対策の効果及び10月以降の支援について伺います。</p> <p>(2) LPガス(プロパンガス)利用料金の負担軽減について伺います。</p> <p>(3) 離島の発電コスト支援及び物価高騰対策について伺います。</p> <p>(4) 県は水道料金の値上げを検討していると聞くが対応を伺います。</p> <p>2 那覇軍港の市街化区域指定による固定資産税の影響について</p> <p>(1) 市街化区域の定義について伺います。</p> <p>(2) 該当する地主は何名いるのか伺います。</p> <p>(3) 固定資産税が上がった経緯と隣接する自衛隊基地の固定資産税との比較を伺います。</p> <p>(4) 地主会の要望と解決に向けて県はどう考えているのか伺います。</p> <p>(5) 知事は地主会の意見を伺うとしているが面談されたのか伺います。</p> <p>3 てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場について</p> <p>(1) 利用状況を伺います。</p> <p>(2) カーシェア活用の実証実験を関係者から提案されているが、期待できる効果と県の対応を伺います。</p> <p>4 県内の生活困窮者や福祉施設等へ食品の提供を推進しているフードバンクへの支援について</p> <p>(1) 県の支援を伺います。</p> <p>(2) 国からの支援を伺います。</p> <p>(3) 輸配送費用や倉庫賃料、人件費などの支援ができないか伺います。</p> <p>5 給食費無償化について</p> <p>(1) 県内市町村の全額無償、一部助成の取組状況を伺います。</p> <p>(2) 県は本年度、保護者へのアンケートや他県の取組、事業効果(有効性・妥当性・効率性)を調査するとしているが、実施に向けた意気込みが感じられない。物価高騰が県民の家計に深刻な影響を与えている中、国や県の直接的な支援がなくても、子育て世帯を守るため、厳しい財政状況の中、各市町村は頑張っている。児童生徒に必要な栄養価と給食の質の低下を招かないためにも、給食費無償化は知事の公約として最優先だと思います。国からの支援を待つのではなく、来年度実現に向けて知事の決意を伺います。</p> <p>(3) 無償化は私立学校も対象にする必要があると思うがどうか。</p> <p>6 県道7号線小禄本通りの山下交差点から豊見城に向かう左側の歩道が狭隘で傾斜が続き、高齢者や障害者等の方々が歩行に困難を来しています。対応を伺います。</p> <p>7 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	當間 盛夫(無所属の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 PPP/PFIの推進について</p> <p>(1) 民間投資の喚起での効率的かつ効果的な公共施設等の整備は重要であるが、奥武山公園サッカースタジアムや中央卸売市場再開発の民間投資導入の検討状況を伺う。</p> <p>(2) 国際物流拠点産業集積地域那覇地区は民間資金等を活用した事業の可能性を検討とあるが、進捗状況と那覇軍港側への拡張整備について伺う。</p> <p>(3) 効果的な公共施設等の整備等を進めるには民間投資・資金活用は重要であり、PFI推進課を設置すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 道路事業の予算状況について</p> <p>(1) 平成10年、平成26年、令和5年の道路事業費の推移を伺う。</p> <p>(2) 北部地域の道路網整備や離島架橋整備、南部圏域での南部東道路や新たな公共交通システムの早期整備等多くの要望がある。県の予算確保の状況と課題を伺う。</p> <p>(3) 那覇大橋架け替え事業の進捗状況と、当初予算と現状の概算予算、完成時期を伺う。</p> <p>3 国際性に富む人材育成事業について</p> <p>(1) 英語立県沖縄推進戦略事業の成果と目標達成について伺う。</p> <p>(2) 県内の中学校、高校における生徒の英語力の状況を伺う。</p> <p>(3) 半嶺教育長も視察された北中城村等7市町村で採用されている海外短期留学プログラム・英語キャンプ・海外大学オンライン授業について、県としての見解と支援策を伺う。</p> <p>(4) 沖縄国際交流体験促進事業の事業内容と県の取組状況を伺う。</p> <p>4 離島振興について</p> <p>(1) 粟国航路での第一航空に対する支援と粟国航路の定期化に対する対応策と課題を伺う。</p> <p>(2) 就航が予定されている石垣－波照間、石垣－多良間の就航状況と課題を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	次呂久 成崇(おきなわ南風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 与那国島へのミサイル配備計画の経緯と現状、課題と県の対応について伺う。</p> <p>(2) 北朝鮮の軍事偵察衛星打ち上げに伴い自衛隊が先島諸島に展開しているPAC3をめぐる、地元では不安が広がっている。展開の長期化による地元住民の生活への影響や負担増について、県の見解と対応について伺う。</p> <p>2 離島振興について</p> <p>(1) 運休中の波照間・多良間の離島航空路線の再開に向けた取組状況について伺う。</p> <p>(2) 離島では物価高騰の影響で船賃や日常生活用品、燃料費等が大きな負担となっている。県の見解と支援について伺う。</p> <p>3 陸自石垣駐屯地の排水問題について</p> <p>(1) 駐屯地施設周辺の住民は、駐屯地の浄化槽や油分分離槽で処理された水が民間人所有の田畑に流れ込んで地下に浸透するのではないかと、宮良川下流の大浜第二地下水源地を汚染するのではないかと危惧している。県が定める浄化槽取扱要綱に基づき、県は現地調査をしたか伺う。</p> <p>(2) 県は、駐屯地からの排水や油脂類を使用する施設からの排水に関して、「排水計画の説明は要すると考えるが民法220条の規定上同意は不要」という見解を示しているが詳細について伺う。</p> <p>4 土木行政について</p> <p>(1) 竹富町小浜島の生コンクリート工場閉鎖で止まっていた町営細崎団地の建設工事が再開できる見込みであることが今月2日、竹富町が実施している調査で分かった。しかし、その他の公共・民間工事については生コンクリートの供給の目処が立っていない。今後、竹富町内で県が発注する公共工事にも影響があると思うが、県の見解を伺う。</p> <p>(2) 県営磯辺団地及び磯辺第2団地の両自治会から、下水道接続の要望が約8年前からあるが未だに進捗がない。県の対応について伺う。</p> <p>5 環境行政について</p> <p>(1) 国内最大のサンゴ礁海域である国立公園の石西礁湖でシンハイズー2(8,461トン)が座礁してから5か月が経過する。現在の状況と今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 国の特別天然記念物カヌムリワシは絶滅危惧種 I A類で石垣島と西表島で約200羽しか生息していないといわれている。石垣島では陸上自衛隊石垣駐屯地の建設や石垣リゾート&amp;コミュニティー計画等で生息できる環境に大きな影響を与えているが、県の見解と施策について伺う。</p> <p>(3) 令和5年度重点施策で野生鳥獣の保護・繁殖を図るため、鳥獣保護区等の管理、傷病鳥獣の救護を実施するとしているが具体的な取組について伺う。</p> <p>6 農水産業行政について</p> <p>(1) 繁殖農家は飼料価格高騰に加え、子牛価格の低迷で強い危機感を抱いている。県内の取引価格の状況と支援策について伺う。</p> <p>(2) 韓国で今年5月に家畜伝染病の口蹄疫の発生が確認された。国内及び県内に侵入すれ</p>			

ば畜産業への影響は甚大である。体制と対策、課題等について伺う。

- (3) 県内の家畜衛生関係獣医師職員の配置状況について伺う。
- (4) 県内の家畜人工受精師の資格取得数と実績について伺う。

#### 7 石垣島川平リゾート開発計画をめぐる問題について

- (1) 開発計画地は第1種農地であり農振除外は原則不許可だが、不許可の例外となる農地法施行令第10条第1項第2号イに定める「地域の農業の振興に資する施設」として農振除外が行われたが、その経緯と当時の開発行為許可が下りた内容、その後の事業計画変更等について伺う。
- (2) 沖縄県知事が同開発計画地の農業振興地域内農用地区域の変更に同意した時期と、当時の県知事について伺う。

#### 8 教育行政について

- (1) 中高生の体育系の県大会は宮古島市・石垣市でも開催されるが、文化系の県大会は離島で開催するのは厳しいという声があるが、これまでの開催状況について伺う。
- (2) 県立高校の部活動指導員の任用及び任用期間、配置状況等について伺う。

#### 9 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	玉城 健一郎(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等

## 質問要旨

### 1 FIBAワールドカップについて

- (1) 琉球ゴールデンキングスのBリーグ初優勝、FIBAワールドカップ開催と沖縄が日本のバスケットボールのホットスポットとなっているが、バスケットボールが盛んな県であることを県内外にアピールするような施策が必要だと考えるが、県の見解を伺う。
- (2) FIBAワールドカップを盛り上げるための施策を伺う。
- (3) 映画「THE FIRST SLAMDUNK」について  
登場人物で映画の主人公である宮城リョータが沖縄出身ということで映画中でも沖縄の風景が多く描かれた。国内観客動員数1000万人を突破し日本国内のみならず、中国や韓国でも大人気の同作品は沖縄のPRに大きく寄与している。今回、ワールドカップも開催される年であり、スラムダンクの盛り上がりは大会への大きな追い風になると考えるが、県の見解を伺う。

### 2 待機児童の問題について

- (1) 今年度の待機児童(令和5年4月1日時点)で410名となっている。前年度比で29人の減、8年連続の減少となっているが、待機児童のいる市町村が23市町村、待機児童が増加した市町村が10市町村ある。県の対応と今後の課題を伺う。
- (2) 待機児童ゼロの達成見込みについて伺う。

### 3 通話音声記録装置の設置について伺う。

### 4 教職員の働く環境改善について

- (1) 今年度の教員採用試験の応募総数はどれくらいか伺う。
- (2) 今回の合格者の予定数と正規職員率への影響を伺う。
- (3) 他府県では教職員の採用試験の倍率が下がってきているという情報もある中、沖縄県として倍率が高いうちに採用を増やすべきではないか。
- (4) 教員試験のために臨任ができない有資格者がいるという。例えば、1次試験に合格して2次試験不合格といった受験者が多くいると思うが、臨任で勤務している場合、1次試験免除といった施策を取れば、より多くの有資格者が試験と仕事を両立できると思うが、県の見解を伺う。
- (5) 臨時的任用職員の応募状況、任用状況を伺う。
- (6) 臨時的任用が同一校で継続任用される場合、「採用に伴う住居の移転という支給要件を満たさない」という理由で僻地に準ずる手当、単身赴任手当等の支給対象外となる。鹿児島県では同一島内であれば6年間支給されるという。継続して臨時的任用してくれることは子供たちにとっても、学校にとっても、地域にとってもありがたいことである。変えるべきではないか。
- (7) 教職員の再任用は何人いるのか。再任用は毎年学校が変わるということだが、理由を伺う。
- (8) 産業医の面談がメンタルヘルス対策として取られているが、本来であれば対象になるはずの教員が対象にならないように早めにタイムカードを押しているとの声がある。そもそも働き過ぎで体調を崩すのに、そのケアのための時間も惜しいくらい時間がない現状をしっかりと改善していくためにも、ケアと実態把握のために産業医や保健師の面談を年1回必ず受

けるように制度化してはどうか。

5 令和4年度沖縄子ども調査(高校生調査)について

- (1) 沖縄県の子供の貧困の実情を把握し、適切な支援を図っていくための調査だが、結果について県の考えを伺う。
- (2) これまで様々な支援を行っているが、過去2回の調査と変わったところはあるか。
- (3) 今後の対応について伺う。

6 HIV・エイズについて

- (1) 「いきなりエイズ」が5割超えたことに対する県の考えを伺う。
- (2) 検査体制の強化が必要だと考えるが県の見解を伺う。
- (3) 保健所検査のネット予約導入を求める。

7 普天間飛行場の問題について

- (1) 普天間飛行場周辺の低周波音測定結果について、平成29年度から令和2年度まで測定結果を解析し報告をまとめてきたが、令和3年度以降なくなった。基地の騒音被害を的確に把握するためにも測定結果の解析は大切だと考えるが、今後の対応を伺う。
- (2) NHKの受信料補助について伺う。

8 PFASへの対応について

- (1) 企業局のこれまでのPFAS対策への費用の総額は幾らか伺う。
- (2) 中部水源のPFAS汚染の汚染源の特定について
- (3) 全県下でのPFAS土壌調査について、どのようなスケジュールで行うか。
- (4) 東京都は都民に正しい情報を提供しようとPFASに関する電話相談窓口を設置した。米軍基地由来と言われるPFAS被害の実態を把握するためにも県民の相談窓口の設置が必要だと考えるが、見解を伺う。

9 新型コロナウイルス対策について

- (1) 現在の医療体制を伺う。
- (2) 尾身会長は第9波の始まりと言っているが、県としてどのように対応していくか。

10 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	比嘉 京子(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 保健医療行政について 平和と健康長寿は人類普遍の願いと考える。1985年まで世界の長寿国・日本で男女ともに平均寿命トップであった沖縄県。1995年には、世界に向け「沖縄世界長寿地域宣言」を発表した。</p> <p>(1) 本県は2040年までに男女ともに平均寿命日本一を目指している。現状の認識を問う。</p> <p>(2) 平均寿命の順位は下がり続け2020年は男性43位、女性16位である。その主な要因を問う。</p> <p>(3) 改善に向けたこれまでの取組とその検証・結果及び課題を問う。</p> <p>(4) 部局横断的に、生活習慣が身につく時期を中心に生活習慣病予防に注力することが必要と考えるがどうか。</p> <p>(5) 長野県における健康長寿の取組から本県は何を学ぶ考えか。</p> <p>2 福祉行政について</p> <p>(1) 戦没者遺骨の保全を図る条例制定に向けた見解を問う。</p> <p>(2) 保育について</p> <p>ア 監査について 保育現場において不適切保育である虐待等が増えている。また乳児の誤飲死亡も続いている。本県の定期監査や特別監査の現状と課題について問う。</p> <p>イ 暴風警報発令中における保育所(園)の開所について</p> <p>(3) 児童相談所について</p> <p>ア 第三者評価導入の進捗状況について</p> <p>イ 児童、里親へのアドボケート導入について</p> <p>ウ 里親委託解除事案について 専門家調査委員会の最終報告書のまとめに「本児にとってなくてよかった経験をさせてしまった事案だ」と指摘している。</p> <p>(ア) 里親から引き離され一時保護所での当該児童はどのような意思表示をしたか、また児相はどのように対応したか。</p> <p>(イ) これまでの部の答弁によると、当該児童のケアのために特別支援チームをつくったとしているが、目的と具体的な成果を問う。</p> <p>(ウ) 当該児童は新しい里親の元から自ら元里親に電話をしてきたと報じているが、部はその行為をどのように受け止めているか。その後、当該児童の意思確認はなされたか。</p> <p>(エ) 部長は昨年8月に元里親に謝罪し、当該児童のケアに元里親の協力を求めた。その後当該児童へのケアはどのようになされているか。</p> <p>(オ) この事案は提訴されているが、調査報告書には「何度も会いたい、戻りたいという言葉があったが児童相談所が真摯に向き合った形跡が経過記録に見られない」とし、「子どもの権利利益尊重の視点が一貫して欠如している」と述べている。提訴は大人の問題であり、これ以上子供の声を無視し、子供の権利を奪うことは許されない。県の見解を問う。</p>			



- (4) 政府は、異次元の少子化対策として児童手当の所得制限の全廃を決めたが、児童扶養手当の所得制限は置き去りにしたままだ。年収230万円を超えると児童扶養手当が停止される。この問題の認識と対応策について問う。
- (5) 沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターについて、元相談員等から委託先の県看護協会が訴えられている。見解を問う。

### 3 教育行政について

#### (1) 命の安全教育の取組について

先日、児相職員による児童に対する強制わいせつ事件が発覚した。児童自ら不当な扱いを拒否する意識・行動を育むことが求められている。

ア 被害者にも加害者にも傍観者にもならない「いのちの安全教育」を提案してきたが、教育現場における進捗状況を問う。

#### (2) 歴史教育について

去る3月に出された琉球文化ルネッサンスに関する万国津梁会議の提言には「次世代を担う子どもたちへ沖縄の歴史を体系的に理解する機会をつくることが重要」、また本土大学の研究グループによる県民世論調査によると「教育の場では、沖縄固有の歴史について、もっと教えるべきだ」と回答した県民は79%であったと報道している。

ア 歴史教育が全県で系統的に取り扱われているか問う、また進捗状況を問う。

イ 現状の課題と今後の展開について問う。

#### (3) 高校生のバス無料化について

2022年度沖縄子ども調査における「高校生調査報告書」によると、2019年度の調査と比較して世帯収入の減や就労環境の悪化が困窮の拡大につながり、低所得層 I (254万円未満)では58%が収入減となっている。今回の調査結果からより一層の支援が求められていると思う。高校生のバス無料化の拡充を検討すべきだと考えるがどうか。

### 4 我が会派との代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	山里 将雄(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 辺野古新基地建設断念を求める請願が約56万筆の署名をもって国会に提出された。知事の見解を伺う。</p> <p>2 マイナンバー法の改正が国会で成立したが、その審議中に全国でマイナンバー関連のトラブルが続出し、マイナンバーカードへの信頼が揺らいでいる。沖縄県内のトラブルの発生状況を伺う。</p> <p>3 嘉手納基地内防錆整備格納庫について、県は格納庫の建設により地元の負担がこれ以上増えることはあってはならないとして予定箇所への移設に反対してきたが、當山嘉手納町長が計画見直しを求めないと表明した。知事の見解と県の今後の対応について伺う。</p> <p>4 国道449号における粉じん・騒音等の実態調査について陳情が上げられたが、調査を実施する考えはあるのか。県の対応を伺う。</p> <p>5 名護市旭川鉦山の砂防指定地無許可水路改良に係る問題について</p> <p>(1) 当該事案発生の経緯を伺う。</p> <p>(2) 県の対応と今後の方針を伺う。</p> <p>6 北部医療センターの準備状況について</p> <p>(1) 医療センター整備費用確保の見通しを伺う。</p> <p>(2) 転籍意向調査結果と職員確保の見通しについて伺う。</p> <p>7 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和5年第2回沖縄県議会(定例会)

06月28日(水)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
8	17分	島袋 恵祐(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 自衛隊問題について</p> <p>(1) 与那国町、石垣市、宮古島市、うるま市への自衛隊ミサイル配備、沖縄市への弾薬庫等建設計画は、県民にさらなる負担を強いるものであり、これ以上の基地機能強化は許されるものではない。県の見解を問う。</p> <p>2 米軍基地問題について</p> <p>(1) 米軍外来機の飛来が相次ぎ、住民の不安と怒りの声が上がっている。嘉手納基地、普天間基地周辺の騒音実態と影響を問う。</p> <p>(2) 嘉手納基地旧駐機場への防錆施設建設は基地周辺住民への被害を拡大させるものであり、断じて認められない。県としても反対をすべきだ。見解を問う。</p> <p>(3) 米軍人・軍属による刑法犯摘発数と罪種別の実態を問う。</p> <p>3 県立学校における就職支援員事業について</p> <p>(1) 高校生の就職支援を行っている就職支援員の果たしている役割と実績を問う。</p> <p>(2) 会計年度任用職員の「再度の任用」について見直しが行われたが、2023年度採用者の再度任用の回数を問う。</p> <p>(3) 2023年度の公募期間と離職人数を問う。</p> <p>4 学校現場における感染症予防対策について</p> <p>(1) 新型コロナをはじめとした学校現場における感染症の現状と、予防対策についての対応を問う。</p> <p>5 ジェンダー平等について</p> <p>(1) 同性婚を認めない民法などの規定は憲法に違反するとして、福岡市と熊本市に住む同性カップル3組が国を訴えた「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟で、福岡地裁は、現行規定を「違憲状態」とする判断を示した。同様の訴訟は2019年に全国5地裁で起こされ、4地裁で「違憲」あるいは「違憲状態」の判決が下されており、違憲判断が司法の流れとなっている。同性婚を法制化すべきと考えるが、知事の見解を問う。</p> <p>6 泡瀬干潟のラムサール条約湿地登録について</p> <p>(1) 泡瀬干潟のラムサール条約湿地登録に向けた県の取組について進捗を問う。</p> <p>7 道路行政について</p> <p>(1) 道路の案内板等が劣化により見えづらくなっている箇所が多くあり、県民からも修繕してほしいとの声がある。実態と対応策について問う。</p> <p>8 我が党の代表質問との関連について</p>			